

# 環境・社会・ガバナンスに基づく取り組み

## ハルナグループの軌跡

ハルナグループのESG(環境・社会・ガバナンス)への取り組みは、事業の基盤となる品質保証から始まり、地域社会との共生、そして地球規模の課題であるエネルギー問題や水資源、生物多様性の保全へと、着実にその活動の輪を広げてきました。

### 2001年 - 2005年 / 基盤構築期 品質と資源循環への責任

当社のESGへの取り組みは、製品と事業活動への責任を果たすことから始まりました。2001年の有機JAS工場認定を皮切りに、2003年にはフードロス削減にもつなげるHACCPの考え方を導入し、2002年には飲料容器リサイクルシステム推進協議会に参画し、資源循環への体制を整えました。また、2003年には環境会計を導入し、環境活動を経営に統合。2005年には地域との共生を目指し、緑地公園「ハルナコミュニティガーデン」を整備しました。



コミュニティガーデン

### 2011年 - 2020年 / 加速期 再生可能エネルギーと省エネの推進

エネルギーへの意識が社会的に高まる中、再生可能エネルギーの導入とエネルギー効率化を加速させました。2011年にエネルギー対策委員会を発足させ、工場でのクリーンエネルギーへの転換を全社的に推進。2013年からはボトルの自社製造を開始し、輸送エネルギーを削減しました。そして2018年には、持続可能な社会の実現を目指してSDGsへの取り組みを本格化し、社会課題の解決を経営の中核に据えた挑戦を開始しました。また、2019年からはSDGs私募債を継続的に発行し、その一部を「ぐんま緑の県民基金」へ寄付することで、地域の環境保全活動を支援しています。



SDGs宣言



環境についての社員教育

### 2006年 - 2010年 / 展開期 環境マネジメントとエネルギー転換

この時期には、環境活動を経営に統合するガバナンス体制を構築し、CO<sub>2</sub>排出量削減に着手しました。2008年からはCSR報告書の発行を開始し、ステークホルダーへの説明責任を果たすなど、透明性の高い経営を強化しました。そして2009年、CO<sub>2</sub>排出量の少ないクリーンなエネルギーである天然ガスへの転換を開始しました。



当時のページ



CSR2008の表紙

### 2021年 - 2025年 / 深化期 水・森・生物多様性への貢献

近年は、気候変動対策をさらに進めると同時に、飲料メーカーの生命線である「水」を守り育てる活動へと取り組みを深化させています。2024年までに主要工場への太陽光発電設備の設置を完了。同年、生物多様性の保全を目指す経団連のイニシアチブへ参画しました。



## 国内外の危機に対する人道支援活動

ハルナグループは「潤う幸せを世界に」というミッションのもと、事業を通じた社会貢献を使命としています。自然災害や紛争、パンデミックといった国内外の危機に際し、人々の生命と健康を守るため、迅速な人道支援に努めています。

これまでの主な活動として、東日本大震災(2011年)、九州熊本地震(2016年)、能登半島地震(2024年)といった国内の大規模災害に対し、生命の維持に不可欠なミネラルウォーターを提供しました。

また、世界が困難に直面したコロナ禍においてはマスクを、ヨーロッパでは飲料の寄付を実施。2022年には、人道危機下にあったウクライナへもミネラルウォーターを届けました。



マスク寄付



ヨーロッパ飲料寄付

こうした緊急時の支援に加え、平時からの備えも重要視しています。私たちはこれからも、事業の根幹である「水」などを通じて、困難な状況にある人々に寄り添い、支援を続けてまいります。

# ハルナグループSDGs達成に向けた取り組み

ハルナグループは、市場と顧客の変化に迅速に対応し、現在の顧客と新たな顧客に高品質な飲料製品の開発・製造・物流を通じて、顧客と消費者が感動し満足する価値の創出を継続していくことをグループの使命として活動してまいりました。私たちはこの活動をより強化するために、皆様の暮らしや社会全体を最適化した未来社会の実現を目指した経団連の企業行動憲章に賛同し、Society 5.0\*の実現を通じてSDGsの達成に向けて取り組んでまいります。



## ハルナグループのサステナビリティ価値創造プロセス



## 7つのゴール 2025年度目標の各取り組みに対する達成率

3 持続可能な消費と生産	業務活動での酒気帯びの根絶 100%	平均達成率 91%	9 気候変動対策の推進	JR東日本CSとのミネラルウォーター協創事業 80%	平均達成率 78%
	通勤労災ゼロ件 100%			社内外の資源を活用し付加価値商品を市場へ展開 80%	
	エコキャップ活動 95%			海外のオリジナリティー溢れる商品の輸入販売 70%	
	社員の健康リスクの軽減と支援 70%			HdXの取り組み 80%	
6 安全な水とトイレを世界中に	水を効率的に使用 100%	平均達成率 100%	12 つくば責任	環境配慮資材の取り組み 100%	平均達成率 62%
	水循環企業登録認証 100%			フードロス削減 22%	
	排水適生管理による環境負担低減 100%			資源循環 65%	
	水資源を保全 100%				
7 気候変動対策を加速させる	エネルギー消費の低減と再生可能エネルギー活用 100%	平均達成率 83%	17 パートナシップ	NPOなどを通じた寄付、メセナ活動 70%	平均達成率 68%
	エネルギー資源、地球温暖化防止 100%			ESGプロセスの着実な進捗を実現する 90%	
	エネルギー効率を向上させる 50%			生産活動の見学会や職場体験の提供 80%	
				自社・協力工場における品質の維持向上 33%	
8 働きがいと経済成長	有給休暇取得促進 96%	平均達成率 89%			
	時間外労働時間削減 100%				
	障害者雇用の推進 59%				
	介護休業制度の拡充 100%				

※達成率については、2025年度の自社の各取り組み項目の目標に対して、数値結果及び定性結果を自主評価しました。

## MESSAGE

ハルナグループは、持続可能な社会の実現を目指し、SDGsに基づいたさまざまな活動に取り組んでいます。その中でも当社の事業活動にかかわりが大きい7つのゴールに焦点を当て、社会的価値と経済的価値の実現に向け2018年にハルナグループSDGs行動宣言を発表し活動を進めています。例えば、私たちの事業活動に欠かせない「水」を守り育てる森林の整備・保全活動へ新たに参

加しました。また、二酸化炭素の排出量低減に向け自家消費を目的として自社工場に太陽光発電の導入を進めています。私たちはこの先も社会の持続的な成長のためにいろいろな取り組みを続けてまいります。

ハルナプロデュース株式会社 製造本部 生産技術Sec  
プリンシパル エキスパート 小池 賢司



2025年度の主な取り組み

NEWS!

内閣官房水循環政策本部事務局が定める「水循環ACTIVE企業」に認証されました

国が実施している、水循環に質する取組関心のある企業や取組を積極的に実施する企業を登録・認証する「水循環企業登録・認証制度」において、ハルナプロデュースおよびハルナウォーターが10月28日に「水循環ACTIVE企業」として認証されました。「水循環ACTIVE企業」は水量や水質に直接的に貢献する「水量・水質カテゴリ」の認証と、人材・資金及び機材等を通じて貢献する「人材・資金カテゴリ」の認証に分かれています。

「水量水質カテゴリ」と「人材資金カテゴリ」両方の認証を取得した企業21社の一覧

株式会社鹿島製作所	株式会社カオ	鹿島建設株式会社	株式会社第一集研	株式会社クラリテック	株式会社コカ・コーラ・ジャパン	佐藤工業株式会社
株式会社クラレ	株式会社エプソン	株式会社大成	大日本印刷株式会社	中外製薬株式会社	株式会社DPRM	株式会社DPRM
株式会社東レ	ハルナプロデュース株式会社	株式会社コカ・コーラ・ジャパン	ポッカサッポロフード&ビverage株式会社	株式会社UACJ	株式会社YKK AP	株式会社YKK AP



出典：内閣官房水循環政策本部事務局の水循環ACTIVE企業一覧資料より抜粋

NEWS!

持続可能な森林管理への貢献「ハルナビバレッジの森」が誕生

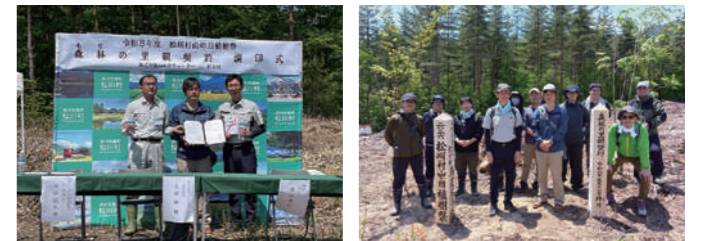
事業活動を行う地域の環境保全と持続可能な社会の実現に貢献するため、群馬県が推進する「県有林整備パートナー事業」に参画いたしました。2025年7月1日、同県と県有林の保護に関する協定を締結し、対象となる森林は「ハルナビバレッジの森」と名付けられました。今後も「ハルナビバレッジの森」での活動を通じて、豊かな自然を未来へと引き継ぐ責任を果たしてまいります。



NEWS!

長野県松川村「森林(もり)の里親制度」への参画

長野県松川村が推進する「森林(もり)の里親制度」に参画し、2025年5月16日に里親契約の調印を行いました。本制度は、企業等が自治体と協定を結び、協力金の拠出や社員参加による森林整備活動などを通じて、地域の森林保全を継続的に支援する取り組みです。契約森林では、水源涵養機能の維持・向上、土砂災害の予防、生物多様性の保全といった森林の多面的機能の発揮を目指し、間伐等の整備や環境学習・交流も含めた活動を進めます。今後も環境保全と地域共生の取り組みを推進していきます。



NEWS!

未来を担う子どもたちの命と健康を守るために

ハルナグループは、認定NPO法人「世界の子供にワクチンを 日本委員会(JCV)」の活動に賛同し、支援を行っています。JCVは、ワクチンで防ぐことができる感染症で命を落とす子どもたちが数多くいる開発途上国にワクチンを贈る活動をしています。私たちはこの活動への支援を通じ、未来を担う世界の子どもの命と健康が守られる社会の実現に貢献していきます。



開発途上国にワクチンを贈っています  
認定NPO法人 世界の子供にワクチンを 日本委員会ホームページより

献血活動

社会貢献の一環として、2009年から献血活動を継続しています。2025年度は8回も工場に献血車を招き、献血を行いました。社員が積極的に参加することで医療現場の血液不足解消に貢献しています。2025年度までの累計で1,905人が献血を実施しました。今後も命を支える活動として、地域や社会とのつながりを深めながら取り組んでまいります。



ハルナ タニガワ 和歌山

水と緑を守り、育む。私たちのサステナビリティ活動

2010年度以降、プラントのある群馬県高崎、榛東、タニガワ、和歌山、長野にてボランティア活動を続けています。

河川の清掃活動

- ハルナ：唐沢川清掃実施 7月
- タニガワ：地域清掃実施 4月
- 和歌山：地域清掃実施 4月
- 榛東：地域清掃実施 毎月



環境保護活動

- ぐんまGS清掃活動
- リフレッシュ瀬戸内清掃活動
- みなかみ町エコツーリズム
- 安曇野市一斉清掃
- 松川村クリーンキャンペーン



谷川岳エコツーリズム



ぐんまGS清掃活動



リフレッシュ瀬戸内活動



安曇野市一斉清掃



松川村クリーンキャンペーン

NEWS!

グリーンモビリティへの移行 計画的な車両更新による環境貢献

バリューチェーン全体でのカーボンニュートラル達成に向けたロードマップの一環として、社用車のハイブリッドエコカーへの移行を加速させています。燃費性能に優れた車種を戦略的に選択・導入することで、事業運営におけるScope1(直接排出量)の削減を着実に実行しています。この取り組みは、CO<sub>2</sub>排出量の削減に直接的に貢献するだけでなく、燃料費の抑制による経営効率の向上にも繋がります。今後も環境パフォーマンスと経済合理性を両立させながら、持続的な企業価値の向上に努めてまいります。



ハルナグループの太陽光発電導入に関する取り組み

ハルナグループは、二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)排出量を実質ゼロにする「カーボンニュートラル」の実現に向け、自社工場への太陽光発電設備の導入を積極的に進めています。これまでに、ハルナプラント、タニガワプラント、そして和歌山プラント(1期)への設置を完了させ、2024年2月には新たに長野県の松川プラントでも稼働を開始しました。さらに、環境への貢献を加速させるため、2026年には和歌山プラントの太陽光パネルを増設いたしました。ハルナグループは、今後も再生可能エネルギーの活用をさらに拡大し、持続可能な社会の実現に貢献していく方針です。



ハルナプラント タニガワプラント 和歌山プラント

松川プラント 和歌山プラント 倉庫棟追加設置2025年7月稼働開始

NEWS!

ハラール認証 多様性を力に「食のダイバーシティ」を推進

ハルナグループは、多様な文化や価値観を尊重し、世界中のすべての人々に「安心・安全」をお届けすることを目指しています。その取り組みの一環として、この度、和歌山プラントと安曇野プラントにおいてハラール認証を取得いたしました。宗教的・文化的な背景に配慮した厳格な製造管理体制を整えることは、単なる規格への適合にとどまらず、社会の一員としての誠実な姿勢の象徴であると考えています。私たちはこれからも、誰一人取り残さない「食のバリアフリー」を推進し、共生社会の実現に貢献してまいります。



環境配慮の資材(包材軽量化)や商材(ラベルレス製品等)の取り組み伸長

バイオマスラベルの開発

2022年度より植物由来の原料を使用した、CO<sub>2</sub>排出削減に貢献するため「バイオマスラベル」の開発を続けています。



バイオマスラベルを使ったルカフェシリーズ

ラベルレスの取組み

環境負荷低減の一環として、ラベルを使用しない「ラベルレスボトル」の導入を推進。資源使用量の削減とリサイクル効率の向上を図っています。

ロールラベラーの設備への切替え

ラベルを薄く、かつ蒸気使用量を削減し、資材コスト・エネルギーコスト両面でのコストダウンを目指します

- ロールラベルは、ハルナウォーターのシュリンクラベルと違いラベル装着時に蒸気を使用しないため、蒸気使用量について約20%の削減が最大で可能となり、CO<sub>2</sub>の削減につながります。
- シュリンクラベルよりも半分以上薄いラベルも使用可能となるため、一本当たりのラベルの使用量が削減され、プラスチック使用量の削減につながります。

ボトル軽量化の開発

商品容器(PET:ポリエチレンテレフタレート)のリサイクルボトルへの取組み

カートン軽量化(ショートフラップタイプ)の使用量低減によるCO<sub>2</sub>排出量の削減を目指し、2Lボトル47gへ軽量化・525mlボトル22gへ軽量化に取り組みました

軽量(減容)キャップ使用によるCO<sub>2</sub>削減



ペーパーレス化を次のステージへ。物流・受注業務でも脱FAXを推進

これまでも全社を挙げてペーパーレス化を推進してまいりましたが、この度、新たな重点領域として物流部門でもペーパーレス化を推進いたしました。これまで紙媒体が中心であった受発注業務をデジタルシステムへ移行することで、紙資源の削減を見込んでおります。この取り組みは、従来の活動をさらに一歩前進させるものであり、業務プロセスの効率化、情報伝達の迅速化、そしてセキュリティ強化を通じて、お客様へのサービス品質向上にも大きく貢献します。



事業を通じた社会への貢献

ハルナグループは、事業活動を通じて社会課題の解決に貢献することも重要な責務であると考えています。国際的な人道支援から、次世代を担う人材育成、地域の環境保全に至るまで、幅広い分野への支援を継続的に行っています。

【主な寄付活動(敬称略)】

<p><b>国境なき医師団</b> (2017年度より)</p> <p>紛争や災害、貧困などにより危機に直面する人々への緊急医療援助を支援しています。</p>	<p><b>群馬県ぐんま緑の県民基金</b> (2018年度より)</p> <p>豊かな水を育み、災害に強い森林づくりを目的とした地域の環境保全活動を支援しています。</p>	<p><b>経団連自然保護基金</b> (2019年度より)</p> <p>国内外の自然保護活動への支援や、企業における環境活動を促進しています。</p>	<p><b>ロータリー財団/米山記念奨学会</b> (2019年度より)</p> <p>紛争や災害、貧困などにより危機に直面する人々への緊急医療援助を支援しています。</p>	<p><b>ロータリー財団/ポリオプラス寄付</b> (2019年度より)</p> <p>豊かな水を育み、災害に強い森林づくりを目的とした地域の環境保全活動を支援しています。</p>
---	---	---	---	---

NEWS!

ハルナイノベーションセンターを通じた地域社会との協創

地域社会との協創を目指す活動の一環として、2025年4月より「ハルナイノベーションセンター」の一般開放を開始しました。本センターでは、清涼飲料水への理解を深めていただくための展示に加え、オリジナルラベルの製作や製品の試飲といった体験型コンテンツを提供しています。特に夏休み期間には、地域の子供たちを中心に多くの皆様にご来場いただき、大変ご好評をいただきました。今後も、地域に開かれた企業として、コンテンツの充実を図りながら一般開放を継続し、地域社会とのより良い関係を築いてまいります。

総勢 **141組 616名**の方がご来場!  
(2025年度)



上毛新聞の子ども新聞「風っ子」にもハルナイノベーションセンターのことを掲載していただきました



2025年4月28日、ハルナイノベーションセンターにて、株式会社群馬銀行 高崎支店の新入行員の皆様をはじめとする19名をお迎えし施設見学会を開催いたしました。見学会の様子は、群馬銀行様の社内報「GUNGUN NEWS」にも掲載いただき、「飲料をどのように作るか、企画開発から質の流れに沿って学び、オリジナルラベルの作成で、たくさんの方の商いへの想いから自由に選んで生み出されている現状を体感できた」とのご紹介をいただきました。



(一部抜粋)

**ご参加いただいた皆様からの声**

ペットボトルを再利用することや茶殻をゴミではなく資源として利用するなど、現代の循環型社会を支える不可欠な取り組みであると感じました。フリーアドレスのオフィスも風通しの良い環境であると感じ、従業員の方々の働く環境への細かい配慮も感じました。(群馬銀行 高崎支店 ○○ 様)

お客様一人ひとりに寄り添った接客を行う点が銀行と共通していると感じました。SDGsは社会・環境・経済のバランスを考えた取り組みであり、一企業の取り組みが社会全体に与える影響の大きさを実感し、大変興味深く感じました。(群馬銀行 高崎支店 ○○ 様)

NEWS!

地域と人を繋ぐフラワーガーデンの創設

新しいアイデアや価値が生まれる「ハルナイノベーションセンター」その隣接地に、2026年4月、四季折々の花々が楽しめるフラワーガーデンを創設しました。この空間は、ご来場のお客様や地域の皆様、そして社員との新たな交流を生み出すコミュニティのハブとなることを目指しています。美しい景観は、豊かな発想の源泉になると信じ、今後も人が集い、心が通う環境づくりに努めます。



地域コミュニティにおけるサステナビリティ活動

NEWS!

「あずみの松川山の日」記念植樹祭への参加

長野県松川村が定める「あずみの松川山の日」(5月第3土曜日)に、馬羅尾(ぼろお)高原で開催された記念植樹祭へ参加しました。自らの手で苗木を一本一本植える活動は、森林が持つ水源涵養機能や生物多様性の重要性を、従業員一人ひとりが体感する貴重な機会となりました。私たちは、このような体験を通じて環境保全への意識を高め、全社的なサステナビリティ活動へと繋げていきます。



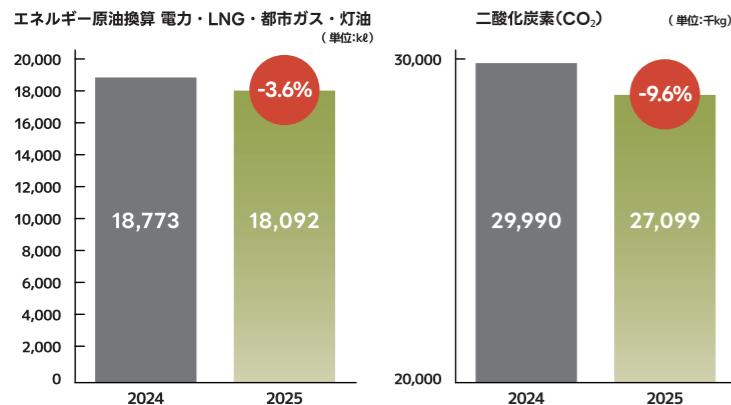
谷川岳における植生保護活動への参加

谷川岳エコツーリズム推進協議会が主催する、天神平周辺の植生保護活動に2023年より参加しています。谷川岳は、その豊かな自然環境と固有の生態系で知られる、地域の貴重な財産です。外来植物の駆除や登山道の整備といった活動を通じて、この美しい自然を未来へ守り伝えていくことの重要性を学びました。今後も地域団体と連携し、生物多様性の保全に貢献する活動を継続してまいります。



エネルギー消費の低減とCO<sub>2</sub>排出量の削減

インプット・アウトプット



※ 二酸化炭素換算値につきましては、関東経済産業局「エネルギー起源二酸化炭素排出量」の係数を使用しております

ハルナグループは、持続可能な社会の実現に向け、エネルギー効率の改善と再生可能エネルギーの活用に積極的に取り組んでいます。温冷排水の再利用や高効率設備の導入など、多角的なアプローチによりエネルギー消費量の削減を推進してまいりました。

その結果、2025年度のエネルギー原価換算値は18,092kl(前年比3.6%減)、CO<sub>2</sub>排出量は27,099t(前年比9.6%減)となり、着実な環境負荷低減を実現しています。

また、生産量あたりのCO<sub>2</sub>排出量を示す原単位においても、2014年度の97.76kg/klから2025年度には48.98kg/klへと大幅に改善し、約50%の削減を達成しました。今後も、気候変動対策を経営の重要課題と位置づけ、さらなるCO<sub>2</sub>排出量削減に努めてまいります。

地域貢献や次世代育成のための協賛活動

ハルナグループは、事業活動の基盤である地域社会の持続的な発展に貢献することが、企業としての重要な責務であると考えています。

地域の一員として、スポーツ振興や伝統文化の継承、次世代を担う子どもたちの健全な育成、そして多様な人財が輝ける社会づくりを多角的に支援しています。

ここに、私たちが地域社会と共に歩む活動の一部をご紹介します。

群馬ダイヤモンドペガサス  
オフィシャルブロンズスポンサー

【地域スポーツ振興と青少年の健全育成への貢献】

私たちは、地域に根差したプロ野球独立リーグ球団「群馬ダイヤモンドペガサス」の活動に賛同し、2026年度のオフィシャルブロンズスポンサーとして支援しています。本協賛を通じて、地域スポーツの振興と、スポーツに打ち込む子どもたちの夢を応援し、青少年の健全な育成に貢献してまいります。



高崎だるま市 景品協賛

【地域伝統文化の継承と地域経済の活性化】

高崎市の伝統行事である「高崎だるま市」の抽選会へ景品を協賛し、イベントの盛り上げに協力しています。地域固有の文化を次世代に継承する活動を支援するとともに、多くの人々が訪れることで生まれる地域の賑わいと経済の活性化に貢献することを目指しています。



高崎商工会議所の創立130周年記念協賛

【地域経済の持続的発展への貢献】

地域の経済発展を牽引してきた高崎商工会議所の創立130周年という記念すべき節目に際し、その活動を支援いたしました。これからも地域経済団体との連携を深め、地域産業の振興と、豊かで持続可能な地域社会の実現に向けて共に歩んでまいります。

群馬グリーンウイングスサプライヤー支援

【女性活躍の推進と地域スポーツ文化の醸成】

女子バレーボールチーム「群馬グリーンウイングス」のサプライヤーとして、チームの活動を支援しています。女性アスリートが輝ける環境づくりをサポートすることは、女性活躍推進の一環です。彼女たちの活躍を通じて、地域住民に感動と活力を与え、一体感のある豊かなスポーツ文化の醸成に貢献します。



金古運動広場杯少年少女野球大会  
(かねタンカップ)協賛

【地域スポーツ振興と青少年の健全育成への貢献】

「金古運動広場杯少年少女野球大会(かねタンカップ)」への協賛を通じて、未来を担う子どもたちがスポーツに親しむ機会を創出しています。スポーツを通じて、子どもたちの体力向上やチームワーク、フェアプレーの精神を育むことを支援し、健やかな成長と地域コミュニティの活性化に貢献します。



### 榛名山ヒルクライムin高崎 協賛

#### 【健康増進と地域の魅力発信】

日本最大級のヒルクライムレースとして名高い「榛名山ヒルクライムin高崎」に協賛しています。本イベントは、参加者の健康増進に寄与するだけでなく、高崎市の豊かな自然環境の魅力を広く発信する絶好の機会です。私たちは、スポーツツーリズムを通じた地域活性化を応援しています。



### 信州安曇野ハーフマラソンへの協賛

#### 【地域スポーツの振興と健康増進への貢献】

私たちは、長野県安曇野市の豊かな自然の中で開催される「安曇野ハーフマラソン」の趣旨に賛同し、協賛しています。本大会への支援を通じて、ランナーの皆様の健康増進を応援するとともに、地域を代表するスポーツイベントの運営に協力しています。今後もスポーツを通じた地域の活性化と、人々が心身ともに健康でいられる社会づくりに貢献してまいります。

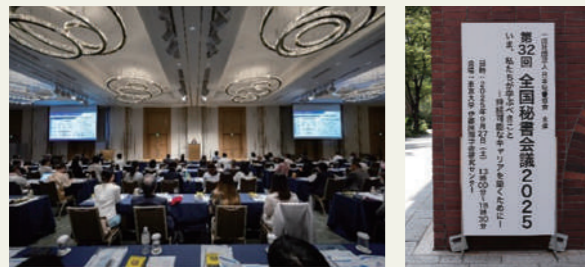


### 全国秘書会議プラチナパートナー

#### 【ビジネススキルの向上とプロフェッショナル人財の育成支援】

「全国秘書会議」の趣旨に賛同し、プラチナパートナー企業として協賛しています。

この支援は金銭的なものに留まらず、2021年2022年2025年の開催では、当社の女性社員が実行委員長として20名のメンバーを率い、ボランティアで大会を成功に導きました。このような社員の主体的な社会貢献は、当社の女性活躍推進が社外でもリーダーシップとして結実した証左です。今後も協賛と人的貢献の両面から、多様な人材が輝ける社会の実現を目指してまいります。



### 「月夜野ホテルの里」への協賛

#### 【地域固有の自然環境保全と環境教育への貢献】

群馬県みなかみ町の初夏の風物詩である「月夜野ホテルの里 ホテル観賞会」に協賛し、来場者の方々へうちわを提供しています。

ホテルが息できる環境は、清らかな水と豊かな自然が保たれている証です。この貴重な自然環境を次世代へと継承していく活動を支援することは、私たちの責務であると考えています。また、会場ではホテルの生態や鑑賞マナーを学ぶ機会も提供されており、本協賛が、訪れる子どもから大人まで多くの人々にとって、環境保全への意識を高める一助となることを願っています。



みなかみ町公式ホームページより

### 地球との共生

## 文化を育む榛名美術からのSDGs貢献

### 地域に開かれた芸術の拠点 「榛名美術記念公園」

#### 2020年4月

地域社会への文化貢献活動（メセナ活動）の一環として、群馬県高崎市に「榛名美術記念公園」を開設いたしました。

創業者である故青木清志が、50年前に大英博物館を訪れ、ゼウスの彫刻作品に感銘を受け、美術作品の収集を続けているコレクションを社員の感性や想像力を高めようと、同社グループの全国5カ所の拠点に展示されてきましたが、「美術作品は多くの人と触れ合ってこそ意義がある」との思いから、「榛名美術記念公園」を開設し広く公開することにしました。その取り組みは、新聞やテレビなど、各メディアで大きく取り上げられました。

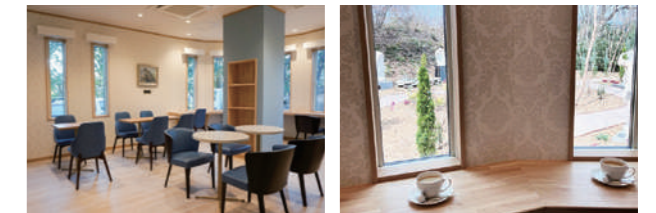
取材の中で創業者の青木は「美術鑑賞は理屈っぽく考えることはない。作品から受けるものは人それぞれ違うだろうが、それを人生の糧にしていただければうれしい」と話していました。



ピカソや藤田嗣治などを展示「榛名美術記念公園」が一般公開へ

#### そして創立から5年目の 2025年3月

新たに『榛名Art Café』を併設し、オープンしました。この公園が、訪れる方々の心に豊かさをもたらし、次世代の文化振興に繋がることを願っています。



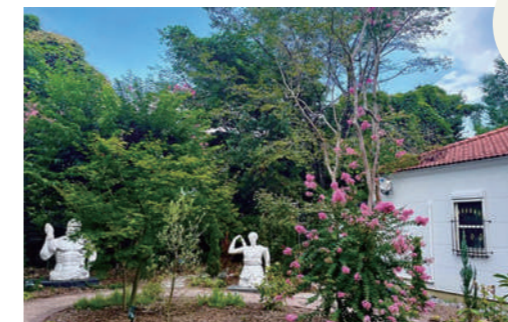
#### 現在

地域文化の新たな創造拠点として「榛名美術記念公園」は、常設展に留まらず、地域の芸術家や多様なジャンルのアートを紹介する特別企画展を定期的に開催しています。

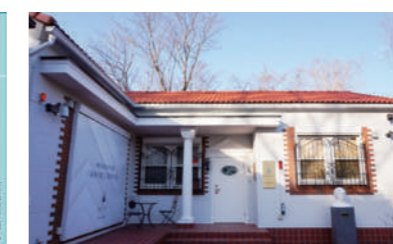
- 2025年3月-5月 「花」をテーマに絵画の企画展
- 2025年9月-12 「街並みと大自然」をテーマにした絵画展
- 2026年3月-5月 「人物画」を集めた企画展

創設以来、その取り組みは多くの共感を呼び、今では世代を超えて多くの方が足を運んでくださる、地域に愛される場所となりました。

これらの企画展は、来館される皆様に新たな芸術との出会いを提供すると同時に、地域の文化活動を活性化させる重要な機会となっています。私たちは、この公園が単なる鑑賞の場ではなく、地域と共に新たな文化を育む創造拠点となることを目指し、活動を継続してまいります。



群馬県高崎市下室田町2700-1



榛名美術  
榛名美術記念公園・榛名Art Café

開館日：水曜、金曜、土曜 4月～9月 11:00～17:00  
10月～3月 11:00～16:00  
祝日休館